

宗教で食べ物を規定する意味は、集団の結束であり、他宗教への離脱機会をなくすため。原理主義者の社会は、変化に対応できない閉鎖社会。そのうち廃れていく。

コミットメントの概念は、ふたりの個人が対立する状況において、一方が他方に対して、ある結果をあくまでも——たとえみずからが損をしようとも——追求すると信じこませることができれば、優位に立てるという発見に端を発している。もっと具体的に言えば、売り手が買い手に対して——たとえ取引がまとまらなくても——値引きをするつもりはないと信じこませることができれば、思いどおりにできる可能性が高くなる。譲歩して値引きするよりも、取引がまとまらないほうが売り手は損をするはずだと買い手が考えていても、これはあてはまる。

~~~~~

コミットメント (commitment) は英語からきており、「かかわりあうこと」、「ゆだねること」「委託」「委任」、また「言質を与えること」「公約」「誓約」「約束」などを意味します。つまり、責任をもって関わること、責任をもって関わることを明言すること、責任を伴う約束をさします。

~~~~~

日々のさまざまな対立において**交渉上の強みを得るため**に、**感情が貴重な手段になる**。たとえば、怒りをあらわにすることで、たとえ自分が損をしようとも、不当な扱いや無礼な扱いをされたら拳で応えるといった強硬な対応をとるのも辞さないと示せる。われわれがどこまでも合理的だったら、敵対者を躊躇させることは簡単でなくなる。

合理的感情やコミットメントを戦術として利用するのは、取引や交渉の現場では当たり前になっている。怒りやさげすみ、さらには共感のような感情まで、ありふれた交渉の現場で明らかに使われている。それらは交渉人の立場を強めたり弱めたりする。

ストックホルム症候群は、われわれがだれしもある程度は患っている広範な症候群の最も極端な形にすぎない。われわれは権威ある人物と接していると、その人物に肯定的な感情を持ちやすい。権威者から傷つけられたり、不当な扱いを受けたりしても、そうした肯定的な感情を捨てられない人もいる。状況を変えられる機会が少なくなるほど、権威者に肯定的な感情を持ち、不当な扱いを受けても悪いのは自分だと思いやすくなるのである。

ほとんどの人は、作り笑いを見分ける

のにととも長けている。作り笑いは自然に浮かんでくる笑みとは別の筋肉を使うが、ほとん

どの人は作り笑いと自然な笑みのどこがどうちがうのかを説明できないのである。

実のところ、ポーカーは確かに技量のゲームであり、運が勝ちを決める要素はかなり少ない。ポーカーで物を言うのは相手の感情状態を正しく判断することだからだ。

実際のところ、共感

と心の理論にかかわる能力の欠如が自閉症スペクトラムによく見られる特徴であり、この障害を持った人たちが日々直面する困難の理由になっている。こうした状態では、周囲を完全に知覚、認識しているにもかかわらず、行動や反応がまったく予想できない宇宙人だらけの別の星に住んでいるように感じる。左耳を搔いたら相手を深く侮辱し、怒りに満ちた反応を招くことになるかどうかもわからない。どうすれば相手から信頼を得られるかも、食べ物探しを手伝ってくれるよう頼めるかもわからない。たとえ相手が善意を持って近づいてきても、仲よくするつもりなのか攻撃するつもりなのかもわからない。言うまでもなく、だれとも親密な絆は結べないし、子供も作れない。

この研究によ

る興味深い発見のひとつは、人々が他人に寄せる信頼と、その人々が住む国の GDP とのあいだに、強い相関関係があったことだった。他人を信頼する度合いが高い国は、それだけ GDP が高かったのである。信頼と経済発展に直接の因果関係があるのかどうかまでは判然としなかったか、ラボでの実験などを利用したその後の研究は、この相関関係に十分な理由が内在することを明らかにしている。

経済学者の研究は、自然科学の研究といくつかの点でちがっている。現代の経済学の研究の多くは理論的なもので、数理モデルを用いる。この理論的研究は、やはり数理モデルを用いる物理学の理論的研究に似ていなくもない。しかし、物理学には理論的仮説が正しいかどうかを決定する究極の手段、つまりデータによる実証という手段が存在するのに対し、実証されてもいないのに広く受け入れられている経済理論は多い。たいていの場合、ある理論の正誤を実証するデータを得る方法はない。一〇〇〇年以内にアンゴラ的生活水準はスイスのそれへと収束すると言われても、その理論が正しいか誤っているかを実証する手段などあるわけがない。

パレスチナ社会では、個人主義は伝統的、宗教的価値観に反するため、いまでも恥ずべきものだと見なされている。イスラエルとパレスチナの対立も、パレスチナ人が過度な個人主義を警戒する理由になっているという。

クジャクの尾羽がハンディキャップにほかならないのなら、なぜ進化の過程ですっと昔に消滅しなかったのかという当然の疑問を、動物学者たちはいただいた。これにザハヴィは、独創性に富んだ見事な答を出した。クジャクの尾羽の利点は、まさしくそれがハンディキャップだということにある。どのクジャクもこのような長い尾羽を持てるわけではない。ぬきんでて強く、賢く、健康なクジャクだけが、尾羽の重荷に耐えて敏捷に動ける。つまり**大きな尾羽は強さや賢さや健康のシグナル**なのであり、強く、賢く、健康なオスを求めるメスを惹きつける。そして交尾によってその遺伝子は子に受け継がれるので、子が生き延びる確率は高まる。長く重い尾羽を持ったクジャクは何匹ものメスとの濃厚なセックライフで報いられ、受け継がれた遺伝子は雛の生存確率を高める。

ユダヤ教で清浄な食物を定める規定であるカシュルートが、その興味深い例になっている。カシュルートは非衛生的な食物を避けることだけが目的であるかのように思われがちだが、真の目的は集団の結束を保つことにある。古今東西を通じ、食事は集団でおこなう重要な社会活動だと見なされている。カシュルートはユダヤ人と非ユダヤ人がいっしょに食事をする機会を大きく制限し、これによってユダヤ人と非ユダヤ人の社会的かかわり合い全般を制限する。その自然な成り行きとして、集団を離脱するインセンティブに接する機会をかなり減らす。ユダヤ人と非ユダヤ人がいっしょに食事をするのを完全に禁じるのは、要らざる対立を招くかもしれない。しかるべき理由のない決まりに見えても、**食べてよいものを制限する複雑な規定を設ければ、接触をもっとさりげなく制限することができる。**

変化を取り入れる試みをことごと

く圧殺する原理主義者の社会は、社会の突然変異が実現するのを妨げている。そのために基準や価値観を変化しつづける環境に適応させる能力を失い、社会の遺伝子の生存競争に勝つ可能性を大きく減らしている。

オキシトシンは、既知のふたつの発達障害にもかかわっている。オキシトシンのバランスが悪く、特に脳でこれが不足している状態は、自閉症スペクトラムの人によく見られる特徴だ。自閉症スペクトラムの子供が他人に共感を示したり社会的状況を理解したり近しい人を信頼したりするのが苦手なのは、オキシトシンの不足が一因である。

ウィリアムズ症候群と呼ばれるきわめてまれな神経疾患では、正反対の状態が見られる。この病気は、心臓疾患、消化管障害、高血圧などのさまざまな生理的、精神的な障害を特徴とする。患者の知能指数は六〇から九〇程度にとどまるのがふつうだが、社会技能はすぐれている。他人に共感を示し、その感情を認識する能力では、並みの人間よりもはるかにまさっている。また、赤の他人に対しても、盲目的なほどの信頼を示す。ウィリアムズ症候群の子供は、まわりのだれにでも愛情を表現する。そのせいで性的搾取の犠牲になりやすく、他

人を過剰に信頼して喜ばそうとするために小児性愛者に狙われやすい。神経科学者たちは、オキシトシンの生産過多がウィリアムズ症候群の患者に特有の社会的行動の一因になっている可能性があると考えている。

われわれは周囲に疑いの目を向けているときほど、他者の意図を見抜くために時間や労力をかける。オキシトシンは疑おうとする意思を弱め、信じようとする意思を強めてしまうために、他人に操られやすくなる。

人差し

指の長さと言指の長さを測り、前者を後者で割る。ほとんどの男性は人差し指が言指より短く、この比の値は一未満になる。比の値が小さいほど、体内のテストステロンの量が多い。

たとえば働きバチや

働きアリは生殖機能を失っているが、女王の子育てるのに専念することによって、その系統が繁殖しつづけられるようにする。

~~~~~

働き蜂は女王蜂と同じく雌ですが、生殖能力がなく、形態的に花で蜜や花粉を集めるのに適しています。ちなみに働きアリは生殖機能を失ったメスアリです。

~~~~~

マッチングは、どの夫婦も離婚する

可能性がないときか、いまの相手よりもよい相手と結婚できる可能性がないときに安定する。男Aが女Bを欲し、女Bも男Aを欲しているのに、どちらも別の相手と結婚しているならば、安定マッチングにはならない。同様に、安定マッチングでは、いま結婚している人は独身でいるよりも配偶者がいるほうを望んでいることになる。

このような定義だけでは、男女の結婚市場で理想的な安定マッチングがつねに得られるかどうか、すぐにはわからない。しかし、ゲールとシャプリーは簡潔にして明快な証拠を用い、希望に満ちた数学的法則を証明した。安定マッチングはつねに存在する——結婚市場で男女がどのような好みを持っていようとも！ ゲールとシャプリーはさらに、コンピューターにひとりひとりの男女の好みを入力すれば、単純で簡単な計算によって、安定マッチングを見つけられることも示した。

~~~~~

安定マッチングと Gale-Shapley アルゴリズム

<https://mathtrain.jp/galeshapley>

~~~~~

わたし自身の話をしておこう。大学に入
学したばかりのころ、わたしは理想の女性と短いあいだ交際した。彼女は美しく、賢く、ユ
ーモアの感覚に富み、とても思いやりがあった。しかし、懸命に探したにもかかわらず、彼
女のなかに見つけられなかったものがあった。親しい友人と燃えるような恋とを分ける、
あの名状しがたい不思議な感覚だ。この魅力あふれる若い女性が、その欠けたものの代わり
になる何かをわたしに与えることができたとは思えない。